

「いしべっ子」の笑顔のために、地域と学校が手をとり合って

湖南省	活動名：石部小学校地域学校協働本部	石部小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：3人(兼務2人)ボランティア登録数：140人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・子どもたちが、安心・安全な環境の中で自ら考え自主的に活動できるように、子どもたちに寄り添いながら支援を行い、地域の方々の力を確保していきたい。
- ・地域、保護者、学校が協働して活動を進めていく上で、地域の方と教職員、地域や保護者の力をお借りしたいことを確認し、「登下校の見守り」、「校内の見守り」、「図書」、「洋裁」、「掃除」、「給食」などのボランティア募集のチラシを配布した。すると、10名ほどの保護者の方が、それぞれ都合のよい時間帯に、希望のボランティアに参加して下さることになった。休み時間の子どもたちに寄り添って声をかけたり、給食の配膳で困っている子どもに声をかけたり、トイレ掃除の仕方がわからないときには手本を見せたりして下さった。今後もつながりを大事にしていきたい。



【 掃除ボランティア 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・「CS・ボランティア報告交流会」を開催し、学校運営協議会・地域ボランティア・保護者ボランティアの方々と石部町の教職員が一堂に会して話し合う場を設定した。前半は昨年度の協働活動の取組を紹介し、後半はグループに分かれて「いしべっ子の様子」「こないしべっ子に育てたい」というテーマで話し合っていた。

■ 事業の成果・展望

- ・ボランティア募集のチラシを配布したことで13名の方が申し込んで下さった。その中には、「このように募集がくるのを待っていた。」と言って下さる方がおられた。
- ・保護者ボランティアとして学校の子どもたちに寄り添ううちに、「先生も大変ですよ。私たちにできることをしますよ。」と言って下さるようになった。
- ・以前から活動して下さっている環境ボランティアの方々は、毎年畑の準備をして下さったり、「畑の先生」として苗の植え方を教えて下さったりしている。その後お世話になった子どもたちからあいさつをしたり、お礼のメッセージを届けたりしているので、また次への励みになると喜んで下さっている。
- ・新しく取り組んでいる掃除ボランティアの方は、「帰り際に2年生の子が『ありがとうございます。』と言ってくれたり『トイレ掃除が一番好き』と率先して掃除をしてくれたりして心が温まる時間も多々あった。」とおっしゃっていた。
- ・「CS・ボランティア報告交流会」の後、学校運営協議会の方より、「価値のあるものだった。」、「次に会ったときに話しやすくなる。」、「先生の困り感も聞けるとよかった。」、「学校対地域という感じだったので、これから横に並んで関係づくりをしていきたい。」、「今後はテーマを絞って交流していきたい。」などたくさんのご意見をいただいた。

■ その他

- ・学校ホームページ：コミュニティ・スクールを参照
<https://ishibe-el.konan.andteacher.jp/>



■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()



【 CS・ボランティア報告交流会 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

3年生 「福祉体験」を通して、障がいについて理解をふかめよう

湖南省	活動名：石部南小学校地域学校協働本部	石部南小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成21年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:175人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

総合的な学習の時間をより充実したものとなるよう「子どもと地域がひびきあう」をキャッチフレーズとし、「ふるさと意識の醸成」「子どもたちの自主性の育成」の取組として、3年生の福祉体験を行った。



【 アイマスク体験の様子 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

10月16日 アイマスク体験
 10月17日 車いす体験
 10月24日 視覚障がいのある方のお話を聞く
 10月24日 点字体験

■ 事業の成果・展望

- ・学区内には養護学校や様々な福祉施設がある。3年生は総合的な学習の時間で福祉について学びを進めていく。
- ・様々な障がいについて体験を通して学習ができるよう地域と連携を図った。養護学校や施設の子どもたちとの交流があるため、事前に福祉について学んだ。
- ・事前打合せでは、教職員(担任)から子どもに学んでほしいことをボランティアに説明してもらった。
- ・相手の立場にたって物事を考える力をつけるために、体験学習までに児童自らが事前学習を行った。
- ・アイマスク体験は、目の見えないことの不便さや、移動の難しさを学習することができた。
- ・車いす体験は、安全に車いすを操作することや、介助される側の気持ちを理解することができた。
- ・視覚障がいのある方のお話を聞いて、目の不自由な方はどんな感覚で生活をされているかを知ることができた。お話の最後に「白杖を持っている人を見かけたら、声をかけてあげてね」と言われ、子どもたちは大きな返事をしていった。話が終わると、数名の子どもたちがガイド役になり、教室まで案内をする姿が見られた。
- ・点字体験は、自分で打った点字を実際に視覚障がいのある方に読んでもらい、学習意欲が高まった。また、学習後のふりかえりを点字で書いている児童がいた。



【 点字を打つ様子 】

■ その他

6月19日 児童会とCS理事との懇談会にて、夏休み子ども教室の内容を検討した。
 7月23日 夏休み子ども教室:「水鉄砲づくり」 1日目:63名参加 支援員:21名参加
 7月24日 夏休み子ども教室:「水鉄砲づくり」 2日目:61名参加 支援員:22名参加
 7月28日 夏休み子ども教室:「宿題教室」 3日目:25名参加 支援員:13名参加
 7月31日 夏休み子ども教室:「宿題教室」 4日目:30名参加 支援員:22名参加

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

学校から～つながる子どもと地域～

湖南省	活動名：みくもっ子地域学校協働本部	三雲小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：2人(兼務1人) ボランティア登録数：290人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・取組の報告をととして、活動内容の共通理解を行っている。中学校区で1つの学校運営協議会であることを生かし、同じ中学校区にある他校の取組を参考にして活動している。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・5月に実施した2年生の夏野菜植えでは、地域で農園経営をしている方や菜園をされている方に協力していただき、子どもたちが選んだ野菜ごとに植え方、育て方、水のやり方を熱心に教えていただいた。
- ・3年生の学習(12月)[くぎうちトントン]では、昨年2年生の時に[九九検定]にきていただいたボランティアの方を覚えている児童が多く、作品の出来栄を披露する子、自分のやりたいことのお手伝いをお願いする子など、ボランティアの方との距離が縮まったやりとりが見られた。
- ・その他、次のような活動を行った。

登下校の安全確保

【各地区スクールガード】

【通学ボランティア】登下校の見守り、同行

教育環境の整備

【環境ボランティア】花壇植栽、草刈り、修繕等

【掃除ボランティア】掃除の仕方の指導、支援

【図書ボランティア】絵本の読みかたり、図書室での見守り

【昼休みの見守り】折り紙教室の開催

学習、行事の支援

【家庭科：裁縫】ミシンの使い方の支援

【体育科：ペース走記録会】危険箇所の立ち番、誘導

【クラブ活動】地域の方に講師依頼・活動の手伝い

【生活科：町探検】2年生生活科「町探検」の引率見守り

【交通安全教室】自転車を使った実地訓練の見守り

【算数科：九九検定】2年生算数科 九九の暗唱テストの聞きとり



【2年生夏野菜植え】



【折り紙教室】

■ 事業の成果・展望

- ・図書ボランティアでは、朝の読みかたりメンバー7名で年間1クラス2～3回(のべ110回程度)実施している。読み語りに耳をかたむける姿勢を育み、本を読むきっかけになっている。
- ・熱心な活動が児童の育ちに対して過干渉とならないように、助言を促すこともある。
- ・活動の発信に際して個人情報を守ることや、SNS等への投稿を控えてもらうことを、呼びかけている。
- ・紙面によるメンバー募集に頼らず、地域の中で活動の趣旨に賛同してくださる人材をネットワークから探している。
- ・地域ボランティアの活動内容を親子で知ってもらえるようなお知らせをしようと考えている。
- ・ボランティア活動は、長期間継続している。そのため、児童や教職員ともよい関係が築けている。
- ・中学校区で一つの学校運営協議会の仕組みをもっている。小学校から中学校まで途切れることなく関わっているボランティアもいるので、児童・生徒に寄り添う9年間の見守りができている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

初めての田植え、稲刈り体験・支えてくれる地域に感謝

湖南省	活動名：三雲東小学校地域学校協働本部	三雲東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：110人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・甲西中学校区小・中9年間を通して関わる(見守る)地域を目指す。
- ・小・中9年間を通して自分で考え行動できる力のある子に育てる。
- ・主体的に学ぶ教育について正しい認識を保護者に啓蒙していく。
- ・子どもの居場所づくりや基礎学力の補充を推進する。
- ・教職員が働きやすい学校にするためにできることを考える。
- ・学校経営における課題解決に向けて協議し、地域と学校が協働した通学路点検などの実践につながった。
- ・中学校区で1つの学校運営協議会という特色を生かし、校区を越えた地域学校協働活動(他校区在住のボランティアとの協働)につなげた。



【 田植え 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・5年生 たんぼの子(田植え・稲刈り体験)

■ 事業の成果・展望

地域にある「エコビレッジ妙感寺」に協力いただき、田植え・稲刈り体験を実施した。ボランティアには自治体(区長)・地域で活動中の「里山クラブ」・民生委員・スクールガードなど、日頃から児童の活動に協力して下さる方々が参加し、安全見守り、田植え、稲刈りに力を貸して下さった。稲刈りの後も精米の様子を見せていただくなど、児童の初めての活動を温かく支えていただいた。

地域への感謝の気持ちを伝えるため、児童の発案で「感謝の会」を開き、収穫したお米でおにぎりや五平餅を手作りし、ボランティアの皆さんと一緒にいただくなど、楽しく交流する時間をもつことができた。

地域・児童と一緒に活動する中で、互いに学びや喜びを共有できた。これからも持続可能な活動にしていきたい。



【 稲刈り 】

■ その他

ボランティア活動を「三雲東小学校ボランティア通信」として発行し、周知した。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

チーム岩根で支える子どもたちの体験活動

湖南省	活動名：岩根小地域学校協働本部 (根っこ応援団)	岩根小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成20年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:220人</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/>学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/>部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/>学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/>地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/>地域行事への参加 <input type="checkbox"/>ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/>郷土学習 <input type="checkbox"/>その他[]</p>			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(まちづくり協議会)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

児童数の減少やニーズの変化に対応するため、これまで行ってきた支援活動について見直しを行ったり、新たな取組への支援を始めたりすることができた。

平成20年度当初から、クラブ活動の指導者を地域の人材が担ってきたが、クラブの数や内容等について見直しを行った。また、20年間継続してきたホタルまつりの取組についても、今年度ホタルの自生を確認できたことから、今後どのように進めていくかについて考えた。



【 ホタルまつり当日の様子 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

毎年5年生が12月にホタルの幼虫やカワニナを放流している。そして6年生は6月に「ホタルまつり」を開催し、下学年の子どもたちや保護者、地域のみなさんの前でホタルについて学んできたことを発表してきた。

今年も6年生が「ニュース番組」、「ホタル劇」、「ホタルつり」、「ホタルクッキング」、「プラネタリウム」といった体験的なブースを準備し、楽しみながらホタルについて学べるよう工夫して学習発表を行った。体験する下学年の様子や地域の方からのお声掛け等により、子どもたちは大きな達成感をもつことができた。

今年度はカワニナのみ放流をしたが、数十匹のホタルが飛ぶ様子を確認でき、喜びあう子どもたちの姿も見られた。

■ 事業の成果・展望

平成17年、「もう一度岩根にホタルを」という子どもの声から始まったホタルまつりの取組。ホタルの幼虫育成やカワニナの放流、ホタル川の草刈り、ホタルまつり当日の支援など、地域の協力で今日まで継続することができている活動である。20年目の今年、学校の裏に流れる「ホタル川」でホタルの自生を確認できた。今年のホタルまつりを支えてくださった方とのつながりだけでなく、これまでの20年に携わったすべての人とのつながりを感じる活動となった。

今後はカワニナの放流量を調整したり環境の整備を行ったりしながら、子どもたちの活動を支援していきたい。



【 カワニナの放流 】

■ その他

学校ホームページ：コミュニティ・スクールの活動をご覧ください。



■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者 (校長)

子どもたちのできる力を支える地域と「善っこを育てる会」

湖南省	活動名：菩提寺小学校地域学校協働本部 (善っこを育てる会)	菩提寺小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 22 年度 地域学校協働活動推進員等数:3人(兼務2人) ボランティア登録数:200 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・学校、子どもとの関わり方について協議した。特にこども 110 番の設置など子どもの安全について地域との連携を図れた。
- ・学校運営協議会と地域学校協働本部(善っこを育てる会)との連携
両組織を兼任している人が多く、活動内容を把握している強みがある。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

全校で行う「きらめき遠足」には、保護者や地域の方が行き帰りの道中の見守りボランティア・子どもたちと一緒に活動して下さる同行ボランティアとして、全児童の安全を見守ってくれた。特に、交通量が多い交差点が続き、通行に危険を伴う箇所には複数体制で見守りをさせていただき、全員が安全に通行することができた。

行き帰りはもちろんだが、「希望ヶ丘文化公園」での全員で行うゲームに参加したり、自由時間の子どもの様子をしっかりと見守ってもらったりした。教職員だけでは見ることができない部分も含め、十分な支援をいただいた。



【きらめき遠足
子どもたちを見守るボランティアさん】

■ 事業の成果・展望

- ・教職員とコーディネーターとの事前打合せを早めに行うことで、ボランティア依頼がスムーズにできた。今後も年間の予定を早めに立て進めていきたいと思う。
- ・依頼をメール配信することで、参加の有無にかかわらず活動を知ってもらうことができた。ボランティア全員が登録できているわけではないので、少しでも多くのボランティアの方に登録いただけるように努めたい。
- ・毎年のことだが、ボランティアの方の活動を広報紙やホームページに載せ、多くの人に知ってもらえるようにした。「善っこを育てる会」の認知度が上がったように思う。

■ その他

- ・学校と地域の連携を強めるために、年度末に教職員とボランティアの方との活動報告・交流会を実施している。活動報告では、年間の活動内容だけでなく、ボランティアの方が学校や子どもたちに感じておられる思いも重ねて伝えている。日頃、なかなか時間がなく、教職員との交流をもつことが難しいが、この交流会でお互いの顔を知り、情報を共有することができる場になっている。



【昨年度の報告・交流会の様子】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

子どもたちのふるさとづくり 「第13回あすなろカーニバル」

湖南省	活動名：菩提寺北小学校地域学校協働本部 (あすなろ応援団活動)	菩提寺北小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:50人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他 [あすなろカーニバル、あすなろ運動会]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他(あすなろボランティア)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ①あすなろカーニバルについて
開催の是非を議題にし、開催の意義や趣旨を共通認識の上、開催を決定。
当日まで企画、体制、ボランティア依頼など細部に至るまで話し合われた。
- ②あすなろ運動会のCS競技「綱引き」について
児童、教員、地域の交流を深めるためのルール作りが話し合われ、大成功を収めた。
- ③次年度以降の運動会の平日開催の是非について



【 あすなろカーニバル① 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

あすなろカーニバル 11/29 開催 (第13回)
 あすなろ運動会 10/25 開催
 図書ボランティア 図書室季節の飾り、図書カードを入れるケース作り、お話し会
 ちくちくボランティア 家庭科学習補助、カーテン修繕
 クラブボランティア クラブ活動指導補助
 花と緑のボランティア 学校の花や畑のお世話、子どもたちへの指導補助
 見守りボランティア まち探検や校外学習の安全見守り

■ 事業の成果・展望

2年ぶりのあすなろカーニバルの開催。保護者もボランティアとして参加しやすくするため、特別時程の登校日とし、児童全員が参加できる体制にした。様々なブースを設け、各ブースにはCS理事を責任者として配置。地域ボランティア、保護者ボランティア、教職員、中学生ボランティア、5、6年生ボランティアの協力のもと、運営した。子どもたちは友だちや保護者と自由に買い物したり、ブースを回ったりする時間とした。

【児童の声】

「たくさん準備をしてくれてありがとう。」
 「お父さん、お母さんの協力があって楽しめました。」
 「たくさんの方が頑張っている姿を見て『ありがとう』という気持ちになった。」

【ボランティアさんの声】

「とても楽しい時間でした。また声をかけてください。」
 開催後の意見や反省をうけ、すでに来年度に向けての準備をスタートしている。

■ その他

学校ホームページでは運動会、あすなろカーニバルの様子がアップされています。



【 あすなろカーニバル② 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

心のふるさとづくり 「あい」のある学校・地域～つなぐれ水戸っ子～

湖南省	活動名：水戸小学校地域学校協働本部	水戸小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：2人(兼務2人) ボランティア登録数：50人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域資源と人材の発掘
- ・地域との協力体制づくり
- ・創立50周年実行委員会の立ち上げ



【 みとっこ食堂 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・ヘルメット安全教室
子ども安全リーダーが全校集会で子どもたちへ自転車走行時のヘルメット着用を啓発した。昨年、リーダーの連絡会にコーディネーターが出席し、地域の危険箇所や子どもたちの放課後の自転車走行について意見や、提案を受けた。その後、学校と開催時期や参加対象などを話し合い、新1年生入学後すぐに行うことができた。
- ・みとっこ食堂
まち協の事業に小学生が参加し夏休みに4日間の食堂をオープン。メニューや料金などを子どもたちが考え、調理や配膳も子どもたちが自ら進んで活動する姿が見られた。
- ・6年生によるまちづくりプレゼン大会
6年生が「水戸がこんなまちになったらいいな」をグループごとに考え、発表した。ごみ捨ての問題、大型商業施設の誘致、駄菓子屋をつくる、など様々なアイデアに審査員を務めていた地域の方々も感心していた。審査は得点だけでなく講評もいただき、子どもたちがそのアイデアを実現するためにはどうすればいいかを具体的に考えることができた。
- ・敬老会ランチョンマット作成
3年生が地域のおじいちゃん、おばあちゃんに手紙を書き、ランチョンマットをプレゼントし、自治会の敬老会でお弁当を食べるときに使ってもらった。

■ 事業の成果・展望

活動に至るには、日ごろから地域とつながりをつくっていることや話し合っていることが改めて大事だと感じる年だった。ヘルメット安全教室ではリーダーから直接話をしてもらうことで、リーダーと子どもたちが顔見知りになることができた。みとっこ食堂では役割を与えることで子どもが十分に力を発揮できるということ、大人が子どもを信じるのが大切であることを再確認した。地域の中で地域の大人に、子どものがんばっている姿を見てもらうことが、また次の活動につながるようになる。水戸の合言葉「夢に向かってトライ」する子どもたちを、学校と地域と協力して育てていきたい。

■ その他

- ・3年生の平和堂見学で教職員とコーディネーターがお店との連絡について確認できていなかったことや、5年生の稲刈りで子どもたちの作業工程の確認ができていなかった等、次年度は確認を怠らないよう取り組む。
- ・2年生のまちたんけんてで新たに見学できる施設とつながることができた。
- ・教職員がカッターの授業をするのが不安だと話していると、「ボランティアさん呼んだらいいやん。」と他の教職員が話していて、学校とボランティアの距離が近いことや教職員が地域の方が学校に来ることが当たり前になっていることを感じた。



【 敬老会ランチョンマット 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(主幹教諭、用務員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

学校に地域の力を、地域に生徒の活力を！

湖南省	活動名： ぜんりよく地域学校協働本部	石部中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成26年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:77人 <input checked="" type="checkbox"/>学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/>学校行事支援 <input type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/>部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/>学びによるまちづくり <input type="checkbox"/>地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/>地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/>ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/>郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/>その他[入学試験面接指導等]</p>		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

学校生活の中で生徒が困ることがある現状を踏まえ、「地域でできることはないか」と協議した。その中で、それぞれの立場からできることを提案していただき、実行した。多くの地域の方の支援を受けることで、生徒自身が今後地域の一員として活躍していこうとする意欲に結び付けていきたい。

学校の課題や情報など共有、目標やビジョンなどを踏まえ、それぞれの立場からできることを考え、実行した。その中で、多くの地域の方たちに支援をお願いし、生徒は地域の一員として、自主的・主体的に地域に出て中学生の力を発揮していく。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

1年生技術科の木工授業において、のこぎりやかんなも初めてという生徒が多い中、一人ひとりに指導が行き届くようにと、地域の方に支援に来ていただいている。

中庭に設置のベンチが老朽化による腐敗のため、木工授業支援の方々に修繕をしていただいた。木材の防腐剤塗布・仕上げの組み立てには支援学級生徒も一緒に作業することができた。



【 1年生木工支援 】

■ 事業の成果・展望

・教科指導の支援に地域の方々にご協力いただくことで生徒とのつながりが生まれた。また、生徒に丁寧に声をかけていただくことで、生徒一人ひとりの学習意欲や「できた」喜び、実感を高めていただいている。

・木を切るときの向きや力の入れ方、道具の使い方やコツなどを丁寧に教えてくださり、順調に作業を進めることができました。(生徒感想)

・みんながケガをしないように見守っていただき、ありがとうございました。(生徒感想)

■ その他

<https://ishibe-jp.konan.andtercher.jp/>



【 ベンチ補修組み立て作業 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(教科担当教職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

湖南省	活動名：甲西中学校地域学校協働本部	甲西中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：3人(兼務3人) ボランティア登録数：40 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

①通学路危険箇所について

- ・スマホや PC 等で地図上に危険と思われる場所にピンをあげていく。保護者にも協力していただき、3校で実践できればより精度の高い情報を集約することができる。
- ・上記の方法は現時点では協議会内での試行まで行ったが、これまで通り PTA で危険箇所について挙げていく。
- ・協議会の会員の中で継続して立ち番などを行っていただいている。
- ・今年度、地区長さんに協力いただき通学路を一部変更した。その情報を協議会内でも共有した。



【 文化体験講座(車いすダンス) 】

②働き方改革についての協議内容

- ・今年度は教職員の働き方改革について、協議会内でも何かアイデアが出せないか、できないかという意見が出た。
- ・教職員の負担が軽減され、よりよい教育を施すことで子どもが学習内容を習得できるようにしていきたい。そのためには地域の企業等から協賛などが必要となってくる。声をかけながら、継続して協議を行っていく。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・図書室の環境整備 …… 図書室の環境整備と本の帯コンテストの制作補助
- ・書写の授業支援 …… お手準備や後片づけ等学習環境を整える(講師3名)
- ・ミシンボランティア …… 1年生の家庭科支援
- ・お箏 …… 1、2年生の音楽授業での講師依頼
- ・スモールティーチャー …… 小学生の夏休みの勉強会を生徒が支援する活動(異年齢交流)
- ・読み語り …… 朝読書の時間に読み語りを行う。1、2年生対象(地域ボランティア4名)
- ・文化体験講座 …… 1年生の親子の集いで 15 の講座を実施(地域の方との交流)
- ・ボランティアまつり …… 社会福祉協議会のイベントに生徒が参加。模擬店の企画、出店(たこせん、ジュース)
- ・地域の秋まつり …… 地域からの依頼により生徒が参加(模擬店での作業等と店頭販売)
- ・おぼけ大会 …… 長年継続中の当該大会に生徒も実行委員として参加(事前準備と当日おぼけ役や運営に関わる)
- ・クリスマスパーティー …… CS、まちづくり協議会の協力を得ながら校区内の小学生を招待するイベント。生徒が主体となって案内チラシ・動画の作成、ゲーム内容の決定や当日の司会進行(校種・地域との交流)を行う。
- ・地域未来塾 …… 2学期より全学年対象で放課後に学習会を実施(地域ボランティア3名)



【 クリスマスパーティー 】

■ 事業の成果・展望

- ・読み語りと家庭科の授業支援は、小学校から中学校へと連携し、9年間にわたる支援となっている。
- ・ボランティアまつりや地域の秋まつりでは地域の方々と一緒に楽しく交流することができた。
- ・書写の講師の方より、「今年は冷房の効いた部屋での学習だったので、生徒がより集中して作品制作に取り組むことができた」との報告を受けた。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(各活動に関わる学年担当及び教科担当教職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員・教頭)

生徒の「学び」と「交流」を地域でサポート

湖南省	活動名：甲西北中学校地域学校協働本部	甲西北中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成31年度 地域学校協働活動推進員等数：4(兼務4人) ボランティア登録数：16人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・学校運営協議会内に設置している「学び支援委員会」で、地域住民が学校活動や生徒の学びを支援するための方法を検討している。主に、学習活動の支援と学習環境の美化に向けて、地域住民のボランティア人材確保や活用の方法を協議した。
- ・5年目となる「甲北防災フェスタ」の取組をより充実させるため、企画や運営について実行委員会に提案するための原案を作成した。



【 地域とつながる甲北防災フェスタ 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・湖南省で開催されたトレイルランに応援隊で参加し、運営の補助を行った。
- ・校区内の2つの地域まちづくり協議会や社会福祉協議会等の呼びかけに応じ、地域行事に参加した。
- ・吹奏楽部の演奏、家庭部によるワッフル販売。
- ・ボランティア部による子どもの体験ブース運営と団子販売。
- ・朝読書の時間に地域ボランティア「本読み隊」が生徒に本の読み聞かせを行った。
- ・本校 CS、市の危機管理・防災課や防災士連絡会、また地元自治区や防災アドバイザーで実行委員会を組織し、「甲北防災フェスタ」を開催した。
- ・市社会福祉協議会と連携して、「心あったか おてがみプロジェクト」に取り組み、市内の高齢者に絵手紙を送った。



【 甲北防災フェスタでの防災人形劇 】

■ 事業の成果・展望

- ・ボランティア部の生徒を中心に地域行事への参加が増えたことで、地域の方が中学生の取組に感心し、地域行事への参画依頼が増えている。
- ・「甲北防災フェスタ」を生徒と地域の実行委員のみなさんとともに行うことで、主体的に活動する意識が高まった。また、地域の方に防災について伝えることができたことで、実行委員会メンバーや地域の方に、中学生のがんばりを認めていただけた。
- ・生徒の活動を進める上で、生徒の意見や思いを尊重し、一人ひとりの持ち味が生かせるような配慮を行っていることにより、生徒の主体性を引き出し、責任をもって活動をやりきれるようになった。
- ・地域と生徒間のつながりをつくるようにしているため、地域での取組が継続的に行うことができるようになっている。
- ・ボランティア部員だけでなく全校生徒に呼びかけることで、地域行事に参加する生徒が増えている。

■ その他

- ・地域学校協働本部の取組をより充実させるため、先進地研修を行った。他所の取組に学び、できることを取り入れていきたい。また、年に1回は研修を行っていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者 (教頭)

地域とのつながりで育てる若い力

湖南省	活動名：日枝中学校地域学校協働本部	日枝中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成25年度 地域学校協働活動推進員等数:3人 ボランティア登録数:30人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・学校運営協議会の呼びかけで体育祭前にグラウンドの草刈りを実施。
PTAにも協力をお願いした。

・毎年恒例の地域行事などに企画から参加し、子どもたちの意見を本番で生かせるように土台作りをした。

《水戸フェスタ》

生徒たちが希望した3種類のメニューを担当ブースで販売。

《ふれあい防災キャンプ》

事前会議で本番さながらのシミュレーションを実施。



【 マスコットクリーナー作り 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

1年生の家庭科の授業に2学期から週2日地域の方がサポートに参加

・手縫い…マスコットクリーナー作り

・ミシン…タブレットケース作り

※引き続き3学期も作業のサポートを依頼。

■ 事業の成果・展望

・授業を支援していただく地域の方に対し、当初は自ら声もかけることができなかった。

・生徒も回を重ねるごとに地域の方を名前で呼ぶなど、顔見知りになっていった。

・参加した地域の方からは『作品が仕上がる喜びよりも、生徒の隣に寄り添い名前を覚えてもらって細かい作業も一緒に取り組めるようになったことが嬉しい』と感想があった。

・生徒たちも出来上がった作品を嬉しそうに周りを見せていた。



【 タブレットケース作り 】

■ その他

学校ホームページ URL <https://hie-jh.konan.andteacher.jp/>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)